

第9節 水生生物

第1項 特筆すべき水生生物

1-1 調査年月日及び調査内容

調査年月日及び調査内容は表4-9-1に示したとおりである。

表4-9-1 調査年月日及び調査内容

調査対象種	調査年月日	調査内容
ヒラマキミズマイマイ	平成22年8月3日	生息確認調査
ヒラマキガイモドキ		
ナガオカモノアラガイ		
マシジミ		
ドブシジミ		
コオイムシ		

1-2 調査場所

調査は評価書の調査で実施した天白川の調査地点で実施した。

調査地点は図4-9-1に示したとおりである。

1-3 調査方法

調査は調査地点周辺を任意に踏査する任意観察により行い、対象種の確認に努めた。

1-4 調査結果

調査の結果、マシジミは調査地点として設定した7地点の全地点で、ヒラマキガイモドキはP-4、P-5で、ナガオカモノアラガイはP-4で、ドブシジミはP-3、5~7の4地点で確認した。

確認地点は図4-9-2に示したとおりである。

1-5 まとめ

今回の調査の結果、調査対象とした6種(ヒラマキミズマイマイ、マシジミ、コオイムシ等)のうち、ヒラマキガイモドキ、ナガオカモノアラガイ、マシジミ、ドブシジミの生息を確認した。

今後、当該事業の進捗を受けて、最終処分場工事区域近辺の生息個体は天白川水域を下流側へと生息地を移動する等して当該地域周辺では見られなくなる可能性はあるが、下流側の環境は現況調査当時と比べて大きな変化はみられないことから、今後も生息環境が維持されるものと考えられる。

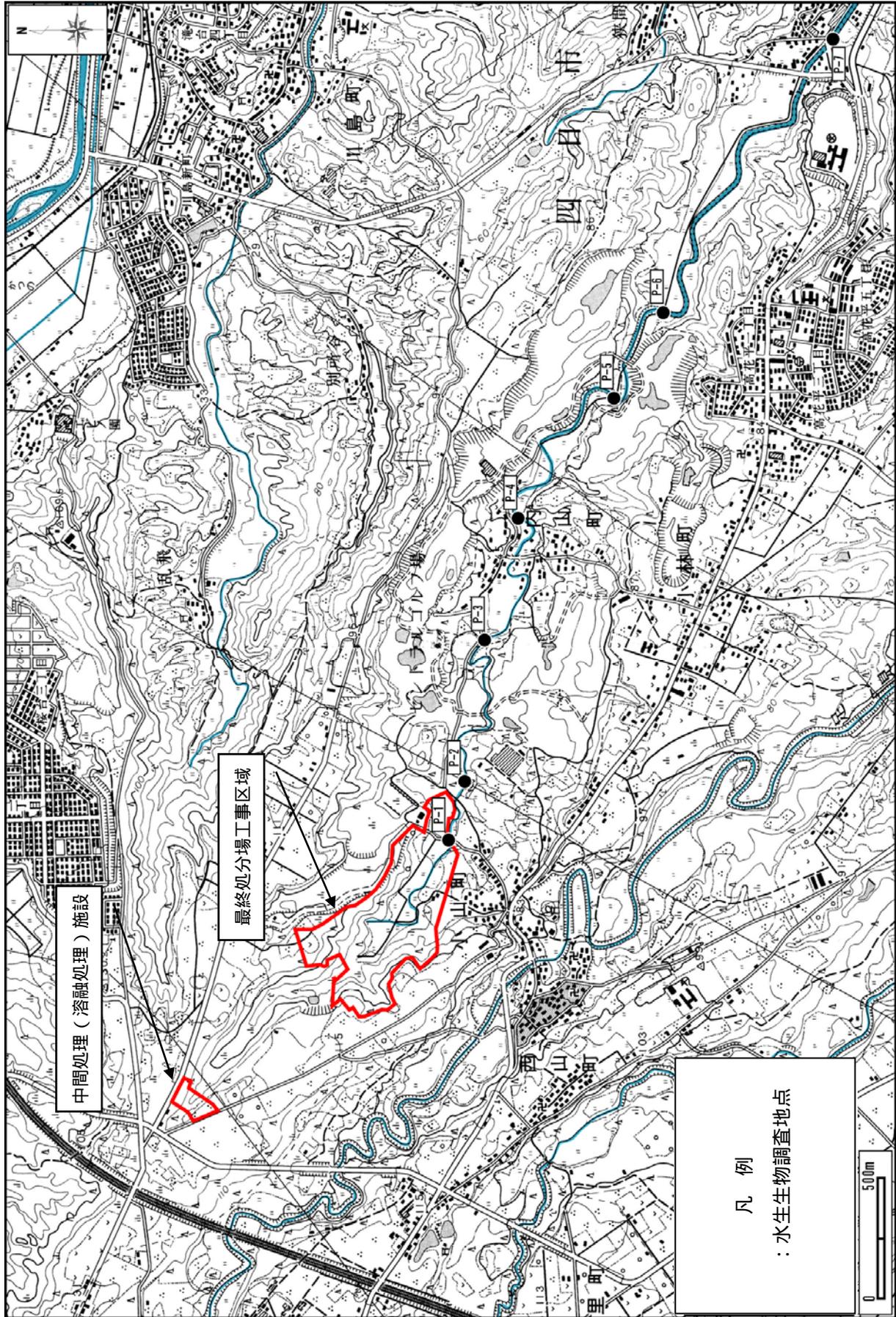


図 4 - 9 - 1 特筆すべき水生生物調査地点

第2項 淡水魚類

2 - 1 調査年月日及び調査内容

調査年月日及び調査内容は表4 - 9 - 2に示したとおりである。

表4 - 9 - 2 調査年月日及び調査内容

調査時季	調査年月日	調査内容
春 季	平成 22 年 5 月 11 日	捕獲調査、目視観察調査、 任意調査
夏 季	平成 22 年 8 月 3 日	
秋 季	平成 22 年 11 月 2 日	
冬 季	平成 23 年 2 月 1 日	

2 - 2 調査地点

調査は図4 - 9 - 3に示した2地点（評価書の調査地点P.1、P.2）で実施した。

なお、最終処分場建設工事の進捗に伴い、秋季調査から調査地点P.1はこれまでの地点より下流側（P.1 とする）に変更して調査を実施した。

2 - 3 調査方法

2 - 3 - 1 捕獲調査

調査地点にカゴ網、セルビン各2個を設置して採集し、生息種の捕獲・確認を行った。

カゴ網、セルビンは1時間設置し、餌として市販の練餌及びサナギ粉を用いた。

2 - 3 - 2 目視観察調査

岸辺や橋上から目視により観察を行い、生息種の確認を行った。

2 - 3 - 3 任意調査

上記の調査方法に加えて、調査地点周辺を、夕モ網を用いて任意に採集し生息種の確認をする任意調査も実施した。

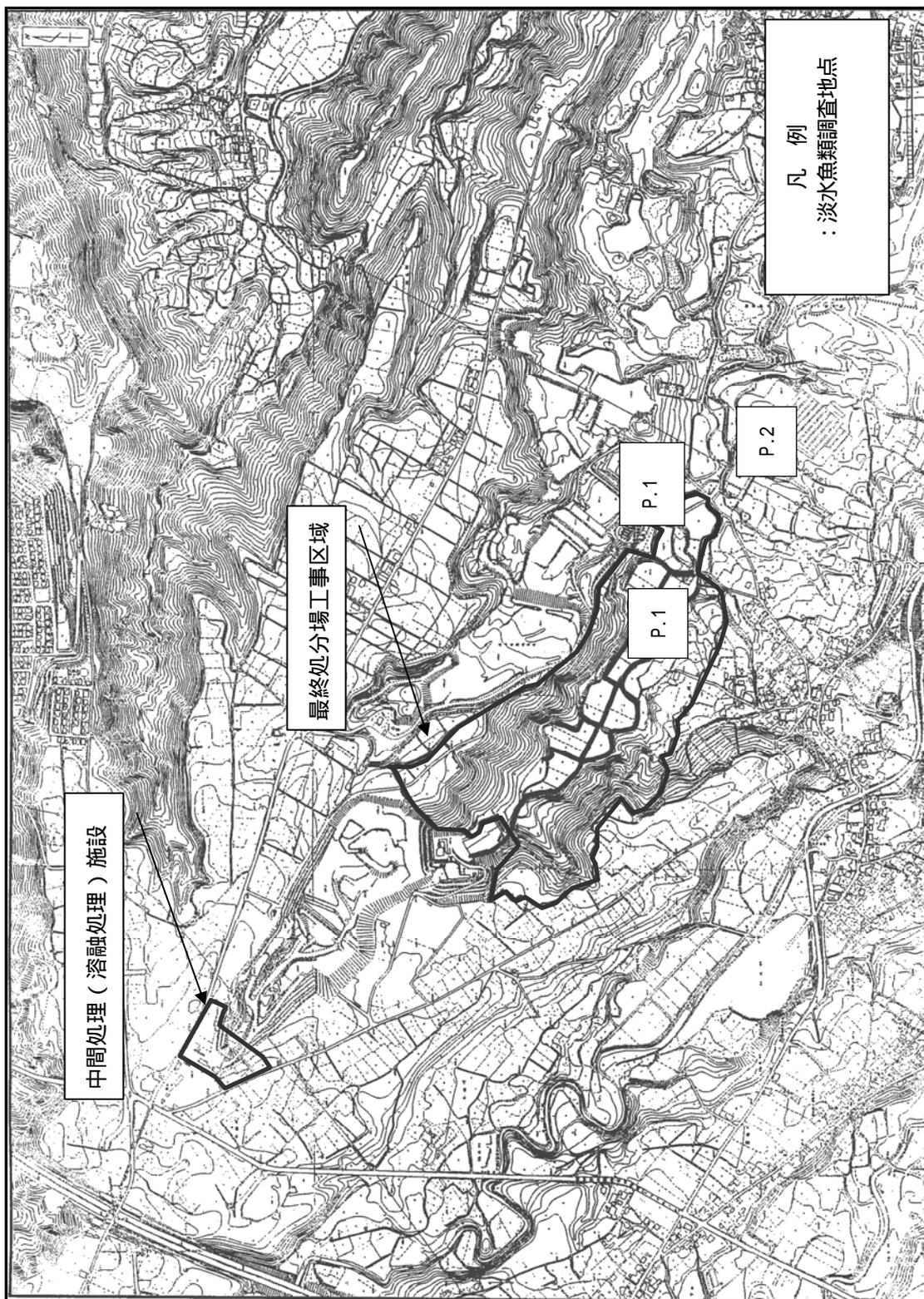


图 4 - 9 - 3 淡水魚類調査地点

2 - 4 調査結果

2 - 4 - 1 捕獲調査結果

カゴ網、セルピン、タモ網による捕獲調査により、表4 - 9 - 3に示したとおりオイカワ、カワムツ、タモロコ、ドジョウ、カワヨシノボリの5種の淡水魚類を確認した。

カゴ網による調査では、夏季、秋季のP.2でカワムツ1種を、冬季にP.1でカワムツ1種を捕獲した。

セルピンによる調査では、各季とも捕獲することはできなかった。

タモ網による調査では、春季ではP.1でカワムツ、カワヨシノボリの2種を、P.2でカワムツ、タモロコ、カワヨシノボリの3種を確認した。

夏季ではP.1でカワムツ、タモロコ、カワヨシノボリの3種を、P.2でオイカワ、カワヨシノボリの2種を確認した。

秋季ではP.1、P.2でオイカワ、カワムツ、カワヨシノボリの3種を確認した。

冬季ではP.1でカワムツ、ドジョウ、カワヨシノボリの3種を、P.2でオイカワ、カワムツ、ドジョウ、カワヨシノボリの4種を確認した。

表4 - 9 - 3 魚類捕獲調査結果

調査方法	種名	春季 (H22.5.11)		夏季 (H22.8.3)		秋季 (H22.11.2)		冬季 (H23.2.1)	
		調査地点							
		P.1	P.2	P.1	P.2	P.1	P.2	P.1	P.2
カゴ網	カワムツ				2		2	1	
	種数	0	0	0	1	0	1	1	0
	個体数	0	0	0	2	0	2	1	0
セルピン	種数	0	0	0	0	0	0	0	0
	個体数	0	0	0	0	0	0	0	0
タモ網	オイカワ								
	カワムツ								
	タモロコ								
	ドジョウ								
	カワヨシノボリ								
	種数	2	3	3	2	3	3	3	4

注：タモ網による捕獲個体数は、その作業量に比例して多くなるため、種類のみを確認とした。

2 - 4 - 2 目視観察調査結果

各季に実施した調査では、P.1 (P.1 含む) P.2 とも魚影を確認することはできなかった。

2 - 5 まとめ

今回の調査では表 4 - 9 - 4 に示したとおり、2 目 3 科 5 種の淡水魚類を確認した。

地点別では、P.1、P.2 とも 5 種を確認した。

表 4 - 9 - 4 魚類捕獲調査結果 (確認種)

目名	科名	種名	調査時季				調査地点	
			春季	夏季	秋季	冬季	P.1 (P.1 含む)	P.2
コイ	コイ	オイカワ						
		カワムツ						
		タモロコ						
	ドジョウ	ドジョウ						
スズキ	ハゼ	カワヨシノボリ						
2 目 3 科 5 種		種数	3	4	3	4	5	5

また、今回の調査結果を、表 4 - 9 - 5 に示した昨年度 (平成 21 年度) の調査結果と比べてみると、季節別では、昨年度よりやや少ない結果であったが、地点別の確認種は、P.1、P.2 とも昨年度と同じであった。

確認種も昨年度と同じで、当該水域に生息する魚類相に大きな変化はみられなかった。

表 4 - 9 - 5 魚類捕獲調査結果 (確認種：平成 21 年度の調査)

目名	科名	種名	調査時季				調査地点	
			春季	夏季	秋季	冬季	P.1	P.2
コイ	コイ	オイカワ						
		カワムツ						
		タモロコ						
	ドジョウ	ドジョウ						
スズキ	ハゼ	カワヨシノボリ						
2 目 3 科 5 種		種数	5	5	4	4	5	5